

今回のテーマは、海外での感染症予防  
3回シリーズのその①  
『渡航前の予防接種』



平成31年度 第1号

## 海外渡航を予定している方へ

事前に余裕をもって、渡航先で気をつけるべき感染症に関する情報を収集しましょう。

海外で流行している感染症には、予防接種で予防できるものがあります。また、予防接種の種類によっては、複数回の接種が必要なものもありますので、**お早めに医療機関や仙台検疫所で予防接種の相談をしてください。**

◆渡航先によっては、入国するために黄熱の予防接種が必要な国（地域）があります。

[海外渡航のためのワクチン\(厚生労働省検疫所 FORTH ホームページ\)](#) (外部サイトへリンク)

◆海外の国や地域における現在の感染症の流行状況等や、検疫所電話相談機関一覧等を調べることができます。

[厚生労働省検疫所 FORTH ホームページ](#) (外部サイトへリンク)

◆仙台検疫所仙台空港検疫支所【電話：022-383-1854】

◆お住まいの地域の医療機関を調べることができます。

<みやぎのお医者さんガイド>

[http://www.miyagi.med.or.jp/prefecture/s\\_system.html](http://www.miyagi.med.or.jp/prefecture/s_system.html) (外部サイトへリンク)

## 予防接種について

①**定期の予防接種について、年齢相応のものすべて終了しているか母子手帳等で確認しましょう。**

また、現在国内で発症が増えている麻しん・風しんについて、患者の多くは30～50代の男性で、都市圏を中心に報告されています。**麻しん・風しんはワクチンで予防できます。**母子手帳で接種回数・罹患歴をきちんと確認しましょう。

②渡航前の予防接種の種類は、下記のとおりです。

予防接種	対象
黄熱	感染リスクのある地域に渡航する人、1回接種、接種証明書が必要な地域あり
A型肝炎	海外流行地への長期旅行者、3回接種に26週以上必要
B型肝炎	血液に接触する可能性のある人、3回接種に6ヶ月以上必要
破傷風	冒険旅行などでけがをする可能性が高い人、小児期にワクチン完了者は1回追加接種のみ
狂犬病	犬やキツネ、コウモリなどが多い地域へ行く人で滞在地区に医療機関がない場合、3回接種に7ヶ月以上必要
ポリオ	流行地域に渡航する人、小児期にワクチン完了者は1回追加接種のみ
日本脳炎	流行地域に長期滞在する人（主に東南アジアでブタを飼っている農村部）、小児期にワクチン完了者は1回追加接種のみ
髄膜炎菌	感染リスクのある地域に渡航する人、1回接種（効果は3年から5年持続）

【参考】◆宮城県ホームページ <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/kaigaitoko-tyuikanki.html>